

平成23年度 環境モニタリング結果

発生ガス

No.	測定項目	測定場所	単位	H23.8.12	H24.1.18
1	メタン	縦型集排水管	ppm	74	27
2	二酸化炭素		vol%	0.3	0.1
3	硫化水素		ppm	0.008	0.002未満
4	アンモニア		ppm	0.2	0.1未満

石綿粉じん

No.	測定項目	測定場所	単位	保全目標	H23.8.23	H23.8.24	H23.8.26	H24.1.18	H24.1.19	H24.1.23	
1	石綿粉じん濃度	埋立地内	本/L	—	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	
2		敷地（西側）		10以下	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満
3		敷地（北側）※		0.3未満	0.3未満	0.3未満	—	—	—		
		敷地境界（南側）※		—	—	—	0.3未満	0.3未満	0.3未満		

※ 風向に応じて風下で測定

石綿粉じん（臨時環境モニタリング調査）

No.	測定項目	測定場所	単位	保全目標	掘削前調査			掘削中調査			埋戻後調査		
					H22.12.20	H22.12.21	H22.12.22	H23.1.18	H23.1.19	H23.1.20	H23.12.6	H23.12.7	H23.12.8
1	石綿粉じん濃度	埋立地内	本/L	—	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満
2		敷地（西側）		10以下	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満
3		敷地（北側）※ ¹		—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		敷地境界（南側）※ ¹		0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	
4	被覆テント内	—	—	—	—	—	—	不検出※ ²	不検出※ ²	不検出※ ²	—	—	—

※¹ 季節ごとの風向に応じて風下で測定

※² 公定法である「石綿に係る特定粉じんの濃度の測定法（平成1年12月27日環境庁告示第93号）」では、被覆テント内の検体が重機等の排ガスの影響（ろ紙が黒色化）により測定できなかったが、「アスベストモニタリングマニュアル（第3版）」（平成22年6月、第4.0版に改訂されたが、改訂版も排ガスの影響を受けるため測定不可）の測定方法では、排ガスの影響を受けた検体でも測定が可能であり、その結果は、クリソタイル、アモサイト、クロシドライト、アンソフィライト、アクチノライト、トレモライトのすべてにおいて0.057本/L未満であったため、不検出とした。

騒音及び振動

No.	測定項目	測定場所	単位	保全目標	H24.1.24
1	騒音レベル	敷地境界（南側）	d B	85以下	44
2	振動レベル		d B	75以下	28未満

悪臭

No.	測定項目	測定場所	単位	保全目標	H23.8.12	H24.1.18
1	臭気指数	敷地（北側）※	-	13以下	10未満	-
		敷地境界（南側）※			-	10未満

※ 季節に応じて風下で測定